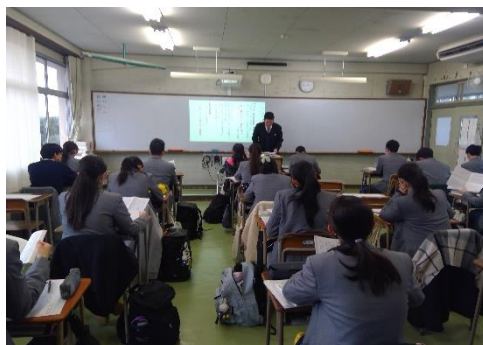


## 国語科の授業改善報告

### ◇ 研究授業

- 日時 令和6年1月31日(水) 6限  
対象 2年3組(36名)  
授業者 岩崎 公紀  
科目 論理国語  
単元 『淋しい人間—こころを通じて』・『こころ』  
学習活動 『こころ』について書かれた論理的文章を読み、作品に対するさらなる理解をグループで交流した。  
<テーマ>  
「『恋は罪悪ですよ。』とはどういうことか」  
導入：明治の結婚観を確認。  
展開：評論から得た知識を基に、下「先生と遺書」の部分から、主人公「私」の心情を中心にどのような行動をしたのか読み取り、まとめた。  
「罪悪」のポイントがどこにあるのか、グループで交流し、九十字で記述した。  
終結：記述した内容を交流し、他者の意見も確認した。



### ◇ 研究授業の成果と今後の課題

#### 【成果】

- 「論理的文章」と「文学的文章」を比較するという、ここ最近の入試傾向も踏まえた授業展開になったと思われる。
- 『こころ』の内容自体が複雑なため、ICTを用いて、簡潔にまとめることで生徒の思考の時間を確保できた。
- 生徒同士が記述内容を確認する際に、新たな気づきをグループで自発的に交流できていた。

#### 【課題】

- 当時の時代背景などを確認する必要はあったのだが、核となる内容を確認する時間を抽出するためには、もっと簡潔にすべきであった。
- 今回はグループワークを中心に交流をしたが、内容理解の段階を踏まえて、ペアワークでよい部分もあった。
- グループワークをより充実させるために、個人の時間も大切に、確実に意見を持たせる必要があった。